

野崎 六助 (評論家)

①〈盗作〉の文学史 栗原裕一郎著

(新曜社・三、八〇〇円)

②プラネット・グーグル ランタル・ストロス著、

吉田晋治訳 (NHK出版・二、〇〇〇円)

③歩きながら問う 金友子編訳

(インパクト出版会・二、二〇〇円)

①労作である。元手のかかっている評論を読むのは愉たのしい。文芸における「盗み」は悪なのか。

答えは自明のようであっ

て、じつは違う。事を究

めようとすれば蟻地獄ありじごくに

はまりかねない。分析の

深みと自配りの広さをと

もに要求される。著者は

それによく応え、先行者

の道を示した。

②インターネットが

「縮小する」世界の実像

レポート。何でも「ググ

ッテ」やろうの戦略と野

望は、コンピュータに無

縁な層をも「侵略する」

と教える。

③人文科学および人文

書の衰退は近年著しい。

人文知識への関心のかげ

がえのなさを伝える貴重

な現場報告。